

# いい顔、ありがとう

三種混合ワクチン接種会場で(5月26日)

●この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係(☎824-111内線二二五)へご連絡ください。写真をさしあげます。



## 早く大きくな～れ

間瀬小学校でさつまいも苗植え

働くことの尊さやものをつくる喜びなどを味わう労働体験学習。ここ間瀬小学校では、57年からサツマイモづくりに取り組んでいます。先月16日、全児童が学校うらにある学校園(0.6㍍)でサツマイモの苗200本を植えこみました。作業は40分間隔に一本ずつついでいねいに植えていく根気のいる仕事。みんな疲れも忘れ、「早く大きくなれないかなあ」など、秋の収穫が待ちきれない様子でした。

## 山本五十六長官との思い出の日章旗

本間耕一さん(栄・72歳)

ここに大きな日の丸の旗があります。大きさはたて二・二㍍、よこ三・六㍍。中央の日の丸だけでも直径一・五㍍もあります。畳に換算すると四畳半以上。もちろんこれだけの大きさですからすべて手作り。並のものではありませんね。実はこの旗、栄の本間耕一さんから村に処分(利用)を依頼されたもの。ふつうの旗なら家で使うなど使い道もあったのですが、何分にも大きさが大きすぎだけに、村に持ち込まれたものです。ところでこの旗には本間さんの青春の深い思い出が刻まれていました。

本間さんとの旗の出会いは今から四十五年前の昭和十七年十二月の暮れ。当時、本間さんはラバウル島で海軍の航空管制室の事務を担当していました。

正月を迎え、恒例により取り替えるためと、この旗がそれぞれ。正月を迎え、恒例により取り替えるためと、この旗がそれぞれ。



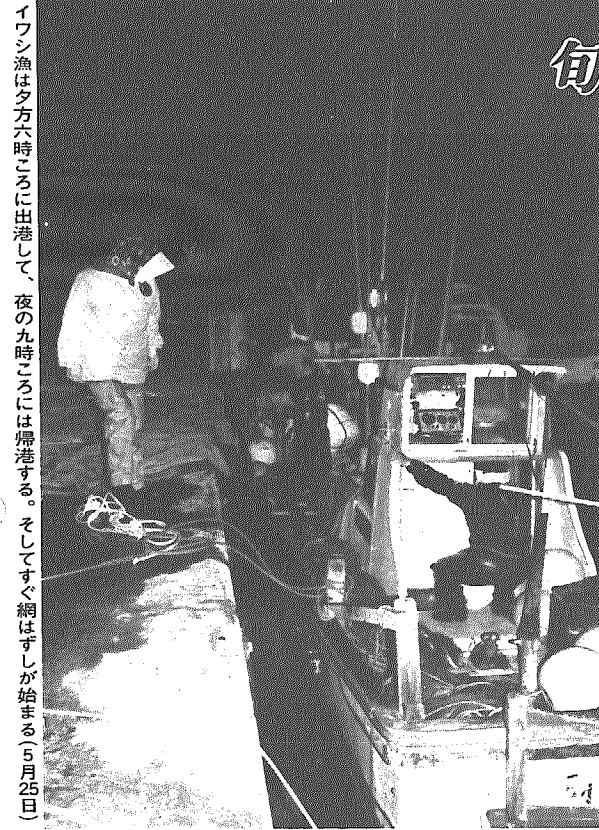
「この旗には青春の思い出がいっぱいつまっています」と本間さん

最前線の視察のため来ていた山本五十六大将(連合艦隊司令長官)が、この旗を見て「ここは激戦地なので(この旗のため)目標はなもって小型なものにしてはどうか」と助言がありました。

言があり「(本間)おまえ、しまっておけ」と山本長官が本間さんに指示したものでした。それから四十五年、本間さんは使命と感じ長く保管していたものでした。「この旗を見るたびにいろいろな思い出がよみ返ります。特に印象深いのは、山本長官の人間味あふれる人柄に直接ふれ

## 旬が終わり、夏近し

日本でもっとも多く獲れる魚イワシ。安くて、おまけに栄養価も満点という優秀魚。そのため料理法もバラエティで、一般的な焼きものから煮もの、ぬた、イワシだんご(お汁)とその幅は広い。また最近はいワシの脂分に含まれる成分が成人病に効く、というので注目を浴びていますね。ところで先月、間瀬漁港はこのイワシ漁でにぎわいました。旬ということもあり脂ののった肥満体!の美味しいイワシが毎夜、水揚げされました。「魚体が刀のように細身になるとイワシ漁も終わり…。この漁が終わるともうすぐ初夏だね」と弥生丸の桐林弥吉さん。旬最後の漁に忙しそうでした。



イワシ漁は夕方六時ころに出港して、夜の九時ころには帰港する。そしてすぐ網はずしが始まる(5月25日)



「きょうは不漁」とイワシをはずす手も重い。



岩室温泉の全芸者さんが出席して行われた表彰式

## これからも頑張っね 芸者さんたちの表彰式

「観光岩室のシンボルとして、これからも頑張っね……」と先月25日、岩室芸妓置屋組合(和田タマ組合長)では永年勤続者の表彰式を行いました。この日表彰を受けたのは3年、7年、10年の永年勤続者10人と芸道(長唄・踊りなど)に努力があったと認められた26人の芸者さんたち。観光岩室の一面を支えてくれる岩室の顔、だけにこの日は表情も晴やかでした。



ゲタバきに浴衣姿の似合う観光朝市(5月17日)

## 観光朝市 浴衣姿がよく似合う

先月三日からオープンした観光朝市。春の観光シーズンに入り、岩室温泉を訪れた観光客の浴衣姿が目立ちます。鮮魚に草花、果物に菓子類の出店が小ぢんまりと並び。朝市はまた地区の交流の場にもなっています。「おはよう」久しぶりだね」などと気さくなあいさつも交わされています。しかし、観光朝市というだけあって、ゲタバきに浴衣姿の方がここではよく似合いますね。